

秋肥・春肥の面積を統合して記入願います。  
 上位2品目を記載し、残りはその他にまとめてください。  
 (例)秋肥でネギ2ha キュウリ30a  
 春肥で水稲10ha 大豆1haの場合

## 化学肥料低減実施報告書

記入願います。代替わり等があった場合は、計画時の取組メニューの実施の有無欄に注釈を願います。

記入例

### 作付概要

作物名	作付面積 (ha)
水稲(有機)	10
ネギ(有機)	2
その他	1.3
計	13.3

氏名(法人・組織名)
住所
電話番号

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	<p>作付概要欄で明記した作物の作付面積の過半で、有機JAS認証、特別栽培農産物(ちばエコ、もっと安心農産物を含む)の認証を受けている、または環境保全型農業直接支払交付金の交付を受けている。</p>	
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等を含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用( )		
総取組面積	13.3ha	13.3ha

右側の面積についても作付概要と同値となることが想定されますが、取組面積の拡大を行う予定の場合は増加した面積を記入願います。